

ニ復業第ニ号の一五
舞鶴復ニ第七號カ

昭和二十一年四月



舞鶴引揚後護局復員部
第ニ復員局内務務處理部

各地方復員殘務處理部復員業務課長殿

死歿者に関する件通知(第ノ一號)

左記は「ナホトカ」より舞鶴に販運した各頭書の者の申告によるものである

記

甲 所 籍	甲 所 籍	死 と 皆 の 所 籍
等級氏	等級氏	等級氏
名	名	名
死歿区分	死歿区分	死歿区分
病名	病名	病名
死年月日	死年月日	死年月日
死場所	死場所	死場所
本籍	本籍	本籍
地記	地記	地記
記事	記事	記事

太禧地

遺族住所及歸納

所屬部隊

役種

官等級

戰死日期

勤務概要

受傷年月日

受傷部(病名)

受傷原因

死没者證書

相同

敬順方面特別根據地隊

現狀

上軍兵

不明

不明

昭和三年六月十七日

心齋堂大藏院

昭和三年七月十九日東京第五陸軍病院三號

死時、狀元
 如春中、今記、戰病死
 光緒二十一年一月二十三日
 廣東省五十五陸軍、臨境
 遺骨八福地復入、廣濟、

右中 告 又

光緒二十一年六月廿九日

由本籍地	告取鄉先	者所屬部族	氏名
	有同	族順方面特制帳號心所	
		官等 級海軍官科與	入籍番

終

舞鶴復二第七號の一六

昭和三十三年五月十七日

舞鶴引揚援護局復員部第二復員課長

各地方復員業務処理部復員業務課長殿

死没者に関する事件通知（第一〇号）

正記のハカトカより舞鶴に飯還した各頭書の方の申告によりてある

記

申す者 の所籍	等級氏	名	飯	郷	先
陸奥 津村	氏	名			
空	水	病死	病名	死年月日	死時場所
達臣は秋及張子		病死	病名	死年月日	死時場所
		本籍	籍	地	記事
					死時場所

128-10

本籍地

遺族住所及競標

所屬部隊

殺種

官等級

乾隆元年

勤務一概要

受傷發病(平月)

受場却病丸

文陽(卷之八)

1. The first part of the document is a list of names and titles, including "The Hon. Mr. Justice" and "The Hon. Mr. Justice".

朝鮮元山航空隊

李氏

上竿拔術兵

卷之五

100

光緒二十一年十二月十四日

宗義失調

下痢去之

42

敬啟者 狀元
 天正年正月一日
 記
 事
 九月十五日
 中書省
 有延書
 中書省
 有延書
 中書省
 有延書

右申 書不

昭和二年十一月七日

申本籍地	告取鄉先	者所屬部族	民
[Redacted]	[Redacted]	朝鮮英二四四部族	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	官善級 陸軍伍長	入籍者

(終)

マ

6400

長崎世二課第 〆の九九

昭和 三十二年二月五日

長崎地方世話部第二復員課

死銀者 謝書

申告者

元陸軍少佐長

死歿者

所轄等級氏

名 己分 病名 年 月

場所

本

籍

地

元空軍長

[Redacted]

病名 肺炎 失 〆の〆

申告者

[Redacted]

佐世保地方復員業務處理部

109

氏十親(認)終明書(厚)

(本籍中)

氏名

右之者昭和三十一年一月十一日滿洲延吉收害所第一病
院に於て(葉善次)損症にて死せし昭和三十一年一月十一日現
に埋葬したることを現認す

昭和三十一年一月十一日

現住所

現認者身分元延吉收害所死七者係

氏名

24 九段口

三重縣津市堀橋通
三重地方世話部第二課

原屋在

死、歿者 調書

課長

籍地

住所

所屬部隊

吳海兵團

夏國年月日

昭和元年正月廿日

役種

官職 海軍兵長

氏名

兵種 海軍水兵

内地北洋九段口

昭和三年正月十日

戰死到着年月日

朝鮮平壤海軍機料廠第之五隊第七班

勤務 概面

昭和元年正月十日

昭和元年十二月、寒月

死年月日場所

昭和二十一年一月十二日、滿洲國間島病院

在 中 告 入

4

昭和	年	月	日
本籍地			
現住所			
所属部隊	滿洲第八九部隊		
氏名	入籍番号	官等級	任長

備考

- (一) 本調者、部隊長より職務取扱等、異代り復員局人事部長宛通報す。責任者より知得られ、又下認むるに付記載入
- (二) 吳鑑在籍、特務警官、進士官、下士官、兵に付記載入
- (三) 同府縣人、勿論他府縣出身者、就て元記載入
- (四) 知得るに範圍外、出来得る限り詳細に記載入
- (五) 他人より聞て承知する事、項々各箇段、概相平方式記載入

舞鶴上陸地連絡所長

冬復殘務處理部復員業務課長殿

死歿者に關する件 通知（第 號）

左記は、アホトカより舞鶴に飯還した各頭書の者の申告によるものである
遺骨護送者

卷

卿

先

[illegible]



路起至平
五月初到第一病院
年四病院二重二病院
其二病院二重二病院
有法者八分取分最
少一五外三三
原用長平
自後年
忠孝峰
年秋
去院
又復
示

州子收發教門人

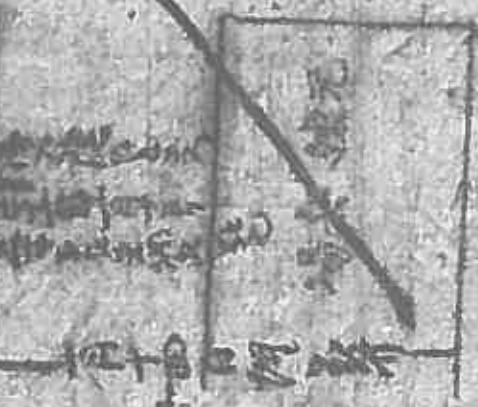
會館
↑
建音樂教室



(建音樂教室六組二級人及基門及基門台等)

至國門二約十里

至二六二六二



會館

至二六二六二

市街

28

10

人壽保險

平水

[REDACTED]

昭和十一年一月六日

問島省閩區收審所

他

二、財政執行方針明年月日及び其場所又は組織を明確に知照せしむる必要は國令で指定して結構とす。

學から習得する事

仙道思々確説をねはか他人から得ぬ如く書成り必ず記註を以て主とい

(四) 本票以外に手紙、現公表、米、清書を御存じつ、際々追記も下さい

(附) 吳帝 吳地方復員局人事部 履歷 死後送 下

吳地方復興委員會

24

1-5
2-8
養正寺 125

海	場所	官評	24 6 25 21 5	22 10	24 6 25 21 5	125	215	52	433	125	215
息	現任所	健在	21.6.25	21.6.25	21.6.25	21.6.25	21.6.25	21.6.25	21.6.25	21.6.25	21.6.25
息	現任所	健在	21.6.25	21.6.25	21.6.25	21.6.25	21.6.25	21.6.25	21.6.25	21.6.25	21.6.25
息	現任所	健在	21.6.25	21.6.25	21.6.25	21.6.25	21.6.25	21.6.25	21.6.25	21.6.25	21.6.25

21-10

260

63

濟

死沒者調查書

本籍地

遷居住所

所属部隊

役種

官等級

戰地到着年月日

勤務概要

受傷經過年月日

受傷部(病名)

受傷場所

[Redacted]

[Redacted]

上場勤務

天種

軍局

氏名

氏名

[Redacted]

入籍番号

十九年九月十五日

丁六八 怪死 金部南元

昭和六年五月二十八日

戦死時状況

死に及ぶ時状況

記事

遺骨は福地優人へ渡され

昭和二十一年一月五日。中谷氏園上へ送る。昭和二十一年一月五日。中谷氏園上へ送る。

右印告入

昭和二十一年一月五日

申本籍地

昔疎粥光

者所属部隊

人民名

上海駐留部

富中子殿校古長

入籍番番

昭和二十二年 七月 十日 金知一社 (第 55 号)

死亡者調査表

昭和二十二年 七月 十日調査

金知一社生計部第二課調査

氏名	性別	年齢	職業	住所	死亡年月日	死亡場所	死亡原因	発見場所	発見者	備考
田中 一郎	男	45	会社員	東京市中央区	昭和二十二年七月十日	自宅	心臓病	自宅	田中 一郎	
山田 太郎	男	30	学生	東京都立大学	昭和二十二年七月十日	教室	交通事故	教室	山田 太郎	
佐藤 三郎	男	60	農夫	山梨県	昭和二十二年七月十日	田舎	肺炎	田舎	佐藤 三郎	
鈴木 次郎	男	25	会社員	大阪府	昭和二十二年七月十日	会社	脳卒中	会社	鈴木 次郎	
高橋 五郎	男	55	会社員	名古屋市	昭和二十二年七月十日	自宅	糖尿病	自宅	高橋 五郎	
渡辺 六郎	男	70	老人	福岡県	昭和二十二年七月十日	自宅	老衰	自宅	渡辺 六郎	
中村 七郎	男	35	会社員	横浜市	昭和二十二年七月十日	会社	交通事故	会社	中村 七郎	
小林 八郎	男	40	会社員	大阪市	昭和二十二年七月十日	自宅	肺炎	自宅	小林 八郎	
西村 九郎	男	50	会社員	名古屋市	昭和二十二年七月十日	会社	脳卒中	会社	西村 九郎	
田村 十郎	男	65	農夫	山梨県	昭和二十二年七月十日	田舎	肺炎	田舎	田村 十郎	
山本 十一郎	男	75	老人	東京都	昭和二十二年七月十日	自宅	老衰	自宅	山本 十一郎	
佐々木 十二郎	男	80	老人	大阪市	昭和二十二年七月十日	自宅	老衰	自宅	佐々木 十二郎	
高橋 十三郎	男	85	老人	名古屋市	昭和二十二年七月十日	自宅	老衰	自宅	高橋 十三郎	
渡辺 十四郎	男	90	老人	横浜市	昭和二十二年七月十日	自宅	老衰	自宅	渡辺 十四郎	
中村 十五郎	男	95	老人	大阪市	昭和二十二年七月十日	自宅	老衰	自宅	中村 十五郎	

本表は中絶の報告書外は第一世帯に記入すること
 記帳上の注意は第一世帯にあり(記帳上の注意をよく読んでから記入の事)
 不備事項中明記するものは外に記入すること